

# 鈴鹿市民の コミバスをよくする会ニュース (第11号・2014.1.12発行)

発行:(略称)コミバスをよくする会  
事務局(仮):辻井良和 方  
〒510-0234 鈴鹿市江島本町31-36  
電話 059-386-0529 FAX 059-386-0646

## 各地の市民と懇談

### 上田町山の花で説明集会

コミバスよくする会が、昨年11月30日の夜、上田町の山の花自治会で説明会を行いました。

コミバスの会事務局の田中美代子さんが山田自治会長さんをお願いして、自治会長さんが呼びかけてくれました。21人の参加でした。

少し寒い夜でしたが、午後7時頃には会場がほぼ埋まり、他所でもやっているように、最初に自治会長さんの紹介を頂いて、辻井会長が説明会にご協力頂いたことにお礼を言い、鈴鹿市の交通の不便さを解消し、高齢者が気軽に外出できる市民交通のためのバスを実現する運動について簡単に話した後、「玉城町の元気バス」のDVD上映を行いました。

### オンデマンドバスと巡回バスで 市内どこへでも

上映後、辻井代表が「鈴鹿市には4万人を超える高齢者がおり、車を持っていない人の方が多く、特に女性は自家用車を利用できる人は少ないことから、外出が気軽に出来るバスが求められていること。広い鈴鹿市の交通は、1時間以内で目的地に行ける玉城町のような福祉バス(利用の多いところは定時運行、利用者の少ない地域はオンデマンド方式)と、神戸・平田サーキット・白子・中央総合病院を循環する無料バスの運行を組み合わせた交通システムを必要としている」と運動の目的について、直前に上映した「玉城町の元気バス」の例を引きながら説明



しました。

玉城町のオンデマンドの特徴や便利さ、社会福祉協議会が管理運営して福祉目的で運行しているので、高齢者の外出支援や医療機関への利用、町にある温泉施設利用者の利便、健康教室の利用者の増加、国民健康保険料の医療費を抑える効果など、大事な行政活動にも大きな効果を上げていることなどを説明しました。

### コミバスは無料が当たり前

会場からの意見は次々と出て、小型でよいから安く上げる運営法方を考えるべきだ、電話やスマホを使うやり方はだれでも使えるだろうか、平田辺りまでいけるような路線にするか、デマンドバスでも平田までは行けるようにして欲しい、などの意見が出ました。

運営の費用については、玉城の10倍として2億円ほどになると説明しましたが、鈴鹿市がやるなら、公共事業だから無料が当たり前だという意見が出て、無駄な予算だと言う意見はありませんでした。

年末からお正月に掛けて交通渋滞と交通事故が多発しました。交通渋滞では、第2名神高速道路が出来てから、鈴鹿インターから四日市ジャンクションまでの渋滞は、交通情報のトップです。

★おかげで鈴鹿市の名前は、有名になった鈴鹿サーキットと共に渋滞の代名詞になっていきます。

★これほどたくさん自動車が使われ、渋滞と事故が多くなっているのに、高齢者にとって市内の交通は全く不便です。

★高齢者は70歳代に入ると免許証の返納を奨められ、ときには家族から危ないから遠くへ行かないでとか、人を乗せないでとかブレーキが掛かりません。

★免許なしでも、快適に市民としての活動に参加できるように交通手段は、必要で大事な、市政の政策ではないでしょうか。

発車オーライ



# 地域のミニ懇談会を 開催して

上田町・山の原



## 今年は、アンケートを たくさん集めたい。

先日（11月14日）、町内公民館にて「生活交通を考える地域のミニ懇談会」を開催し、町内から何名か参加しました。私たち町内も少子高齢化の波が進んでおり、町内の約4分の1弱が65歳以上の方が占めています。また、今後も高齢化が進む傾向にあります。どこに行くにしても足の確保が急務になって来るかと思われま。

そういった中、今回の懇談会で「三重県玉城町の元気バスのビデオ視聴」「コミバスの会からの説明」を受けました。その後、懇談、意見交換を行いました。参加者からは、「連絡先」「予約時間」「駐車場所」「利用料金（年会員制）」等について活発な意見交換を行いました。また、説明を聞いていますと、まだまだ発展途上にありますが、「玉城町」の実際運行している実例があります。決して出来ない内容ではないと思います。

懇談後、今回の参加者への「コミバスをよくする会アンケート」の提出依頼がありました。中身を見てみますと、私たちの所は現在近くにコミバスの路線がありません。近くにコミバスの路線が通れば、利用する方が多く占めています。

最後に「懇談会」により、鈴鹿市民の輪が広がり、実現の方向に向かうことを期待します。

(上田町・川北秀夫)

新年を迎えて、鈴鹿市民のコミバスをよくする会では、今年の運動の重点を「アンケート集め」において、特に力を入れて取り組みます。

鈴鹿市内に、高齢者や自家用車を利用できない人達のための公共交通機関を創ることは、とても大事なことです。その必要性は、この間行ってきた各地の懇談会などで充分語られています。

ではどうしたら実現するのかと言うと、鈴鹿市がこの公共交通機関の運営について、財政の責任を持つことです。想定2億円の予算を組むには、現在の一般会計予算の、いくつかの予算を節約し縮小して、これだけの費用を捻出する必要があります。

それには、市長の決断と職員の理解と協力が必要です。特に市長の決断が重大です。

市長に決断を求めるには、高齢者や自家用車を利用できない市民の声が、どれだけあるのか、どんなことを望んでいるのかを、アンケート活動によって裏付けることが大事だと思います。どうか多くの皆さんの声をアンケートでお届け下さい。

### みんなの願い

- ★無料または低料金にしてほしい。
- ★もっとコースを増やしてほしい。
- ★1時間に1本は走らせてほしい。
- ★乗り継ぎを無料にしてほしい。
- ★市内のどこへでも行けるようにしてほしい。

### あなたの回りで生活交通を考える 地域懇談会を開催しませんか

生活交通を考える地域懇談会では、玉城町「元気バス」のDVD(11分)を観て「会」の考えている思いをお伝えしたあと、参加者の皆さんの率直なご意見をお聞きしする場として、全体で60分程度を予定しています。

自治会や老人会の役員の方々と相談して計画していただいても、あなたの知人2~3人でお集まりいただいても、どんな形でもけっこうですので、地域懇談会をやってみようと思う方は、世話人までご連絡ください。

「私の街にもコミバスを走らせて」の声を広げ、会員を増やし、みんなの願いを実現させましょう。

### あなたの声を 聞かせてください。



コミバスについて願っていること、自分にとって必要な理由、利用したい公共施設は何か、自分の利用方法など、あなたの声を届けてください。原稿は400字以内。「紙上匿名」でも結構ですが、原稿には本名と住所、電話番号を書いてください。写真のある方は送って下さい。可能な限り掲載いたします。

送り先は、このニュース右上の所です。